

公立高校の最終倍率が発表されて思うこと

昨日の夕方に公立高校一般入試の最終倍率が発表されました。近年、入試制度が多様化し、12月頃から入試が続いていますが、ある程度の人数が受検するのは、3月5日に実施される公立高校入試が最後となります。

第5学区の高校の倍率を見ますと、1倍を切った高校もあれば、1.6倍程度の倍率の高校まで様々です。(福岡県教育委員会の発表をもとに計算しましたので、新聞報道とは若干、異なります) いずれにしろ受検者数は確定しましたので、あとは勉強を頑張るのみです。高い倍率の高校を受ける生徒もいますが、この1週間の頑張り合格を祈ります。

ところで、冒頭で高校入試が多様化したと書きましたが、大学入試も以前とは随分変わったようです。今年実施されている『総合型選抜』とか、『学校推薦型選抜』と聞いても何のことやらちんぷんかんぷんです。

時代の流れと共に『学力観』が変わり、それに伴い『入試制度』も変わってきました。新たな入試制度に対応する生徒や保護者、学校は大変です。常に新しい情報を得なければいけません。先を読む力もあつた方がよいでしょう。

多くの人にとって入試は避けて通れない道ですので、入試への対応は必要なものです。

入試は時代とともに変わりますが、『学ぶ楽しさ』は不変です。『勉強って楽しい!』『わかった!』『できた!』と授業で言えるような授業づくりに励みます。

太宰府西中学校では、これからも生徒の知的好奇心をくすぐり続け、学ぶ楽しさを味わえる授業づくりをしていきたいと思えます。



☆ 柔道の押さえ込みは面白い!

2年女子の保健体育の授業を参観しました。慣れない柔道でしたが、学習した技を使った攻防は、とても面白そうでした。

